

平成 30 年度 第 7 回大和市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時 平成 31 年 2 月 21 日 (木) 13 時 30 分から 14 時 30 分
場 所 大和市保健福祉センター 1 階保健指導室・検診室
出席者 委員 6 名、事務局 10 名
内 容

1. 開 会
2. 内 容
 - 1) 報 告
 - ・地域包括支援センター配置職員の異動状況について
 - 2) 議 事
 - ・平成 31 年度地域包括支援センターの予算と業務について
 - 3) 地域ケア推進会議
 - ・大和市の地域課題と取組状況について
 - 4) その他
3. 閉 会

配布資料

資料 1	包括委託状況報告
資料 2	平成 31 年度地域包括支援センターの予算と業務について
資料 3	大和市の地域課題と取組状況

1. 開 会

- ・事務局挨拶
- ・大和市地域包括支援センター運営協議会規則（以下「規則」という）第 6 条第 2 項の規定に基づき、出席者が過半数に達しているため会議成立の旨を報告
- ・会長挨拶
- ・会長の司会により、次第に沿って進行

2. 内 容

1) 報 告

- ・地域包括支援センター配置職員の異動状況について

○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答> なし

報告事項について、委員全員一致により了承とする

2) 議 事

- ・平成31年度地域包括支援センターの予算と業務について

○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答>

委 員：委託料は、前年と比べてどの程度の伸びを示しているのか。

事務局：包括全体の予算としては平成25年度以降、増設や増員により毎年増えている状態であった。しかし、平成29年度から地域包括支援センターの委託料については精算することになったため、結果、9か所の地域包括支援センターのうち、増額はなく、4か所が減額であった経緯から、来年度の予算としては本年度と同額となった。当然だが、地域包括支援センターに負担がかかっているならば、その不足額について精算時に委託料を増額する制度である。

議事事項について、委員全員一致により承認とする

3) 地域ケア推進会議について

- ・大和市の地域課題と取組状況について

○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答>

(精神疾患の理解と自殺リスク軽減と地域の見守りを推進するための委員意見と今後の取組方針(案)の部分について)

委 員：協議体の拠点を作ったことで、おそらく相談する場所が分からず行き場のない方が、何回か拠点の前を通りつつ、ついにドアを開けてくださる、というような状況が見受けられている。そういう意味では、本当は勇気をもって拠点に行きたいが、なかなかドアをノックできないという方たちが、地域にはまだいら

っしゃるのだろうと感じる。私の知る限りでは、1例・2例くらいしか、協議体の拠点にはお見えになってはいない。当たり前・気軽に問い合わせができる場が地域の中にできたら、もっと地域住民と専門職などがつながり、様々な解決ルートが見えてくるのかもしれないと思う。ぜひ、実行していただきたい。

委員：気になったところがある。4ページの「自殺の危機要因イメージ図（厚生労働省資料）」の中から高齢の方の要因に限定して書き出して頂いたが、「ひきこもり」や「いじめ」、「被虐待」も高齢の方にとって、当てはまるのではないかと思った。そういったものも、考えの片隅に置いておかないと、大変なことになってしまうのではないかと考える。

事務局：「被虐待」は図から誤って消してしまった。また、「ひきこもり」については、高齢の方にとっては「閉じこもり」に該当すると思うので併せて追加させていただく。「いじめ」については、委員は具体的にどのようなことをイメージしているか。

委員：無視をされる等もあると思う。高齢の方の中には、障がいをもっている方もいらっしゃるので、そういう部分も網羅しておかないと危険かと思う。

事務局：頼れる人がいない、社会的に孤立している、という人がいらっしゃるであろうと思っていたが、「いじめ」のイメージとつながっていなかった。「いじめ」についても追加して資料を修正したいと思う。

委員：私の感想なので、他の皆さんがどう思ったか聞いて仕上げたい。

事務局：この図自体は今日のための説明資料なので、どこかに出して使うというものではないが、みなさんの中にある高齢の方の自殺の危機要因イメージ、ということなので、共有のため追加はさせていただきたいと思う。

委員：高齢の方でよくある問題として、経済的搾取が挙げられると思う。最近多いのは年金で、子供が親の年金を搾取するケースがある。保護した時にはほとんどご本人はお金を持ってなかったこともあった。以前、生活困窮者支援の県のシェルター事業をやった際に多かったのが、息子からの暴力によるものだった。そういった暴力から逃げ、女性センターを転々とするケースを受けたことがあったが、高齢の女性はとくに受けやすい被害である。経済的に追い詰められるものも含まれると思った。

事務局：被虐待ということでしょうか。

委員：そうである。

事務局：ご指摘のとおり、身体的な虐待だけでなく経済的虐待など、そういうことも含めて、対応していかなければならないと考えている。

会長：全体的に、前回の会議で得られた意見が反映されている内容になっているので良いと思う。

事務局：今後は関係機関と調整しながら、計画的に進めていきたいと考えている。

(認知症施策に関する関係機関及び行政による新たな取組み・充実する取組み方針
(H29年度地域ケア推進会議より)の取組み状況の説明)

会長：リハビリ職によるコグニサイズは、どこの病院が対応しているのか

事務局：桜ヶ丘中央病院と、みどり野リハビリテーション病院である。

会長：1年間を通じて行っているものであったと認識している。良い取組みであると思う。

委員：文化創造拠点シリウスに設置しているコグニバイクは、増やしていこうという計画はないのか。

事務局：今のところは検討されていない。しかし、文化創造拠点シリウスは市の中心にある施設であるため、逆にアクセスしにくい人もいるかもしれないという認識はある。また、コグニバイクは大きな機械であり、管理の面からしても今のところ増設は難しいと考えるが、市民の方からのご要望があれば、増設に向けた検討をしなければならないと思う。

委員：コグニバイクは必ず指導員がついていないと使用できないのか。

事務局：文化創造拠点シリウスが開いている時間であればいつでも使える。初めて使う際には、高齢の方にとって難しい場合もあるので、一度指導員から使い方等を

学んでいただいた後で、自由に使っていただく形が良いとご案内させていただいている。

委員：一度体験させていただいたが、結構時間がかかるものだった。何人もの人が体験するというわけには、なかなかいかないと思う。

事務局：「1人30分をお願いします」とコグニバイクに掲示してあるが、空いている時間もあるので、隙間をみて使っていただきたい。幸いにも設置場所は図書館であるので、ゆっくりと過ごしながらか、やっていただけたらと思う。

報告事項について、委員全員一致により了承とする

4) その他

- ・次回の大和市地域包括支援センター運営協議会は5月30日（木）の午後に予定しており、決定次第通知する。
- ・議事録については、議事録案を作成し各委員に確認していただいた後に、市のホームページに掲載する。

4. 閉 会

- ・職務代理より閉会挨拶